

令和7年度

鳴門市林崎学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- よく分かる授業・考えを伝え合う授業の創造
- 学校と家庭との連携による、生活・学習習慣の確立

校長

上岡祐司

学力向上推進員

堀江知世

【各校の取組状況の把握について】

授業参観や教員からの報告など、様々な機会を捉え、取組み状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○課題にまじめに取り組むことができる児童が多い。 ●話す・聞く・読む・書く力、数の認識などの基本的な知識・技能の定着が不十分な児童が一定数みられる。	・基礎的・基本的な知識・技能がしっかりと身に付き、それらを生かすことができる。	・朝の学習（チャレンジタイム）などで、児童の実態に応じて、全学年までの学習も含め、漢字や計算などの指導を行う。 ・AIDリルのキュービナを活用し、基礎的・基本的な力の定着をめざす。 ・定期的に漢字・計算テストを行い、スモールステップで学力の向上を図る。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の考えをもち、友だちの考えを聞くことのできる児童が多い。 ●伝え合う力に課題があり、自分の考えを言葉や文章で伝えることに苦手意識をもつ児童が多い。	・自分の考えを明確にして、進んで相手に伝えることができる。 ・目的に応じて、理由もつけて自分の考えを文章に書き表すことができる。	・思考ツールを使って考えを整理させることで、自分の考えをまとめることができるようにする。 ・視写をしたり、授業の振り返りを書いたりすることで、書く力や自分の考えを言葉で表現する力を育てる。 ・定期的に日記の宿題を出すことにより、書く力を育てる。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○与えられたことに対して、素直に取り組むことのできる児童が多い。 ●失敗を恐れたり、途中で諦めたりするなど、粘り強くやり抜く力が弱い。 ●生活習慣、学習習慣ともに、十分に身に付いていない。	・自分から進んで学習に取り組むことができる。 ・規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付け、進んで読書や学習に取り組み、自ら学ぶ楽しさを実感することができる。	・学年に応じた体験活動や異学年との交流活動を設け、主体性を高めることができるようにする。 ・学習の手引きを活用して、全教員で学習規律の徹底を図る。 ・めあてを提示することで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。			